

人脈をデザインする ⑤

寺田 和正さん

サマンサタバサジャパンリミテッド社長



上司や同僚とのつながりも社外の人つきあいと同様に大切です。

会社とは「この上司のために頑張りたい」「彼らと一緒に仕事をしたい」という、社員一人ひとりの感情が集まって動くものです。

最近社内の人間関係が希薄な会社も多くなりましたが、良いことではありません。好きな人間と好きな仕事をやる時こそ、人間は最も力を発揮できるのです。

自分が感銘を受けた人に

とごんついで行く。これが社内における人間関係をつくる第一歩です。上司と親しくすると、「点数稼ぎ」と言われてしまうこともあ

りますが、気にする必要はありません。私も商社勤務時代、上司の語に感銘を受け、素直にその気持ちを受けました。下心がなければ、周囲が何を言おうとも、本心が伝わるものです。

社員同士が信頼関係を築いて、ひとつの目標に向かって頑張る。この「集団力」はなお日本企業の強みです。私は経営者という立場になった今、社員とのコミュニケーションをとることも大切にしています。

例えば、女性を中心に七百人ほどいる社員全員に必ず、手書きのメッセージを添えたバースデーカードを送ります。以前は賞与も一

人ひとりに手渡ししていました。社員数が増え、昨年から店長など二百人強に限定しましたが、今後も続けていくつもりです。

こんな手間をかけるのも自分の気持ちこそ素直に伝えたいからです。もちろん報酬や待遇面でも社員の頑張りに報いています。百五十万円以上の賞与をもらう二十代の女性社員もいま

す。でも最後は、経営者の思いがどれだけ伝わるかで、社員のモチベーションは変わってくるのです。

私は経営者として、社員を幸せにしたいと思っています。こうした気持ちに添えて、みんな頑張ってくれます。経営者と社員、社員同士の信頼関係が企業の成長も左右するのです。

「私のビジネスステック」は今回で終了します。

尊敬する上司について行く